

ベンチ入り指導者の保有資格について

「ライセンス規定 全日 鹿児島大会」

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 実施要項 主な変更点 (資料1抜粋)

項目	第48回 (2024年)	第49回 (2025年)
9.参加資格 (8)	チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者（監督・コーチ等）は、全員が本協会公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。また、試合時においては、ライセンスを有するチーム役員が1名以上ベンチ入りすること。	チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者（監督・コーチ等）は、全員がサッカー指導者ライセンスのDライセンス以上を有し、かつ、少なくとも1名はCライセンスを有すること。また、試合時においては、Cライセンスを有するチーム役員が1名以上ベンチ入りすること。
10.参加チームとその数 (2)	前年度優勝チーム枠として1チーム (第48回大会優勝チーム都道府県：熊本県)	前年度優勝チーム枠として1チーム (第49回大会優勝チーム都道府県：東京都)
13.競技会規定 (2) ボール	アディダス社製「コネクト24プロキッズ」 (AF480B・4号球)	アディダス社製「コネクト25プロキッズ」 (ADF400・4号球)

ベンチ入り指導者の保有資格について

全日本U-12選手権第48回大会以降のC級コーチライセンスの義務化について

<決議>

コロナ等による各地域の指導者講習会の実施状況を鑑み経過措置をとり2024年（48回大会）より施行予定であったベンチ入り役員のC級コーチライセンス1名の義務化は**1年延期され2025年（49回大会）から**とする。
また49回大会からC級ライセンス指導者を必須とする。

2020 (44回)	2021 (45回)	2022 (46回)	2023 (47回)	2024 (48回)	2025 (49回)	2026 (50回)	2027 (51回)	2028 (52回)
周知期間								
当初.ライセンス取得期間					当初.【全国大会】最低1名C級義務化			
経過措置.ライセンス取得期間						経過措置.【全国大会】最低1名C級義務化		
						※49回大会からC級は必須		

※【47FA予選】全員D級義務化のスタートは2024年から（予定通り）

ベンチ入り指導者の保有資格について

全日本U-12選手権

1. 狙い

- 指導者のレベルアップと、それに伴うU12年代プレーヤーへの育成環境の充実
- 暴力／暴言の根絶への取り組みとして、指導者⇄JFA間の繋がりと双方向のコミュニケーション機会を創出

2. 制度の概要

- 下記のスケジュールで必須化を進める

- 2022年 1.【全国大会】ベンチ入りする全ての指導者はD級以上の資格保有を義務付け
2.【47FA予選】ベンチ入りする指導者の内、最低1名はD級以上の資格保有を義務付け
- 2024年 3.【全国大会】ベンチ入りする指導者の内、最低1名はC級以上の資格保有を義務付け
4.【47FA予選】ベンチ入りする全ての指導者はD級以上の資格保有を義務付け



ベンチ入り指導者の保有資格について

・JFA全日本U-12サッカー選手権大会

日本サッカー協会 指導者ライセンス保有の義務付け

日本サッカー協会では下記スケジュールで資格保有必須化を進める

2022年【全国大会】 ベンチ入りする全ての指導者はD級以上の資格保有を義務付け



2023年～2024年 2022年～【全国大会】全員D級 2024年～【47FA】全員D級



2025年【全国大会】 【47FA】確認中

ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員がサッカー指導者ライセンスのDライセンス以上を有し、かつ少なくとも1名はCライセンスを有すること。

また、試合時においては、Cライセンスを有するチーム役員が1名以上ベンチ入りすること。